

# みんなで生き方を考えよう！

文責：道徳主任

24年度 道徳教育 だより 5月号

上赤 義人

## 道徳教育 田原モデル

本校は、昨年度に引き続き北九州市教育委員会の委嘱を受け、道徳教育推進の取組を行っています。道徳教育のねらいとする心の教育は、今日的な課題となっています。本校の子どもたちにとっても、心の教育は重要であり、子どもたち一人ひとりに豊かな心が育つことを願っています。そこで、本校では、道徳教育推進の3つの方針を掲げて取組をすすめています。



### ☆子どもたちの心に響く「道徳の時間」の授業をつくる。

道徳教育の中心となるのが、「道徳の時間」と呼ばれる授業です。教師一人ひとりが、子どもたちの心に響く授業をめざし、子どもたちへの心のプレゼントとして授業を創っていきます。

### ☆様々な行事を通して、子どもたちの心を育てる。

体験的な活動は、子どもたちの心を大きく育てると言われます。体験で感じたことを生かし、道徳の時間を補充・深化・統合させます。子どもと教師が感動できる行事をつくりあげていきます。

### ☆道徳的な環境づくりをすすめる

校内掲示物の充実や学校HP・道徳通信などによる情報発信することで、子どもたちの心が育つ環境づくりをすすめています。

このような方針の下、本校の道徳教育をすすめていくのですが、子どもたちの心を育てることは、学校だけの力ではできません。家庭や地域の方々力も不可欠です。是非、本校の道徳教育の取組に対し、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、本校の道徳教育の取組の成果を3学期に、公開授業等で発表したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



## 弁当の日がやって来る

いつもありがとう



5月28日(月)は、本校で恒例の弁当の日です。弁当の日とは、子どもたちが自分で自分の弁当をつくる取組です。いつもは給食やお家での食事等を当たり前のようになっている毎日を通して、また、子どもたちが食事を作る機会はありません。だからこそ、弁当づくりを通して、当たり前にある食事をただ食べていた自分自身を振り返り、多くのことを学んでもらいたいと考えています。

弁当づくりに関わるある書物にこんなことが書かれていました。

◎ 一粒の米、一個の白菜、一本の大根の中に「命」を感じた人は、思いやりのある人です。

◎ 自分の弁当を「おいしい」と感じ「うれしい」と思った人は、幸せな人生が送れる人です。

◎ 「いただきます」「ごちそうさま」が言えた人は、感謝の気持ちを忘れない人です。

など

弁当の日の取組を生かし、翌日(5/29)の道徳の時間で自分自身を振り返り、人間としての生き方についての自覚を深めていこうとしていきます。是非、お家でも弁当の日について話しをしてみてください。

健康

いのち

幸福

思いやり

感謝

自覚

### ホットする話

先日、本校生徒が自転車で通行中倒れて動けなくなっていた男性を助けたことが、家族の方からのお礼の電話でわかりました。

